

日本人デュオ初の快挙。
ARDミュンヘン国際音楽コンクール第3位!

注目の坂本姉妹のピアノデュオが、ついに実現!



©岡本寿

<プログラム>

*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

グリーグ：ノルウェー舞曲 Op.35 より

第1番 ニ短調 第2番 イ長調 第4番 ニ長調

ブゾーニ：フィンランド民謡 Op.27

ラフマニノフ：6つの小品 Op.11 より

第1番 舟歌 第4番 ワルツ 第6番 スラヴァ

ラヴェル：マ・メール・ロワ

別宮貞雄：北国の祭り

ブラームス：ハンガリー舞曲集より

第1番 ト短調 第2番 ニ短調 第3番 ヘ長調 第4番 ヘ短調

第5番 嬰ヘ短調 第6番 ニ長調

2026年

5月17日(日)

開場 14:30/開演 15:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)


Shibuya
Mitake
Salon


123
Shibuya Mitake Salon (vol.192)



坂本彩 坂本リサ ピアノデュオリサイタル

123
Shibuya Mitake Salon (vol.192)

2026年5月17日(日)

開場 14:30/開演 15:00 入場料: 会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,000円(全席自由席)

日本人デュオ初の快挙。 ARD ミュンヘン音楽国際コンクール第3位!

アンサンブルの現場に立ち会うと、互いに呼吸を合わせようとする瞬間がある。ピアノ連弾というジャンルは、同じ楽器を四手で奏でるという特性ゆえに、とりわけ「合っていないと不自然」と感じられやすい形態だろう。

「坂本姉妹の連弾を、ぜひ聴いてみてほしい」
そう勧められることが、これまで幾度もあった。

姉妹で、しかも若い。
第一印象は“可憐な美人姉妹”というものだった。
話題性が先に立つのではないかと——そんな先入観があったのも事実である。
だが、それはすぐに覆される。

最難関の一つとされる第70回ARDミュンヘン国際音楽コンクールのピアノデュオ部門において、日本人デュオとして初の第3位入賞、さらに聴衆賞を受賞。

そのほか、ポーランドの国際ピアノデュオコンペティション、チェコのシューベルト国際ピアノデュオコンクールでの第1位など、国内外で確かな足跡を刻み続けている。
その実績は、揺るぎない。

とりわけ“最も難しい連弾作品”とも称されるシューベルト《幻想曲》の演奏動画からは、その音楽性の深さが画面越しにも脈々と伝わってくる。

姉妹だからだろうか。
呼吸を合わせているというよりも、自然に合ってしまう。
音楽を擦り合わせるというより、もともと同じ方向を見つめているかのようだ。
まるで一人が四つの手で弾いているかのような一体感。
しかしそこには、彩とリサ、それぞれの明確な個性が息づいている。
そして何より、揺るぎない信頼がある。
そのことが、音の奥から静かに伝わってくる。

繊細でありながら絢爛。
とりわけ、音楽の“横の流れ”の美しさは特筆すべきだ。
旋律が自然に受け渡され、響きが途切れることなく次へと連なっていく。
腕の美しい運びに導かれるように、聴き手はいつしか音楽の核心へと引き込まれていく——

グリーグ《ノルウェー舞曲》、プゾーニ《フィンランド民謡》、ラフマニノフ《6つの小品》、ラヴェル《マ・メール・ロワ》、別宮貞雄《北国の祭り》、そしてブラームス《ハンガリー舞曲集》。

民族の息づかいを感じさせる舞曲の数々。
幻想的な色彩をまとった物語の音楽。
そして躍動するリズム。
それは、彩り豊かな音楽の旅——

呼吸を合わせるのではない。
自然に重なる。

サロンで体験する坂本姉妹の連弾は、まさに「連弾の真価」を示すひとときとなることだろう。

(渋谷美竹サロン)

坂本彩・坂本リサ (Aya・Risa SAKAMOTO) Piano

第70回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門において、日本人デュオとして初の第3位入賞、併せて聴衆賞を受賞。第7回国際ピアノデュオコンペティション第1位(ポーランド)、第21回シューベルト国際ピアノデュオコンクール(チェコ)第1位など、入賞を重ねる。

バイエルン放送響、ウィーン放送響、日本フィル、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団、広島交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、名古屋フィルをはじめとするオーケストラとの共演や音楽祭への出演など、国内外にて積極的な演奏活動を行っている。

2024年にはAlpha Classicsよりモーツァルト「2台のピアノのための協奏曲」、fontecよりデビューCD《Duettist》をリリース。

姉妹ともに東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程ピアノ科で学び、ロストック音楽・演劇大学ピアノデュオ科修士課程、国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。ピアノデュオを田中美江、横山幸雄、加藤真一郎、伊藤恵、Hans-Peter Stenzl & Volker Stenzlの各氏に師事。2021年ブルーノ・フライ音楽賞、2023年福岡市文化賞を受賞。

今回のプログラムは、そんな二人の資質を存分に映し出す内容である。

©Felipe Araya



日本のトップクラスの演奏家たちが、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

サロン・メンバーズ
入会の詳細はこちら
(一時停止中)



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (月・金 10:30-17:00)

070-2168-8484 (繋がりにくい場合)

Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

